

## 2020年度(令和2年度)事業報告

2020年度は「地域住民がより健康で、より元気で、心豊かに過ごせるよう、学校、地域、行政と連携して、地域の活性化およびスポーツ・文化活動の拡大に尽力致しました。

しかしながら、ダイヤモンドプリンセスに端を発した「新型コロナウイルス感染症」の拡大による「緊急事態宣言」の発出などで、感染予防策を講じながらの活動で、満足な事業活動が出来ない1年でした。以下にご報告申し上げます。

## (1) 地域住民の心身の健康づくり支援事業

「健康は長寿への第一歩」をうたい文句に月4回開催のいきいき健康体操教室は、コロナ禍のせいで受講者が減り、夏季・冬季は音楽室で2部制の活動となりました。

健康の街若葉台での健康に対する意識の高さはあるもののコロナ禍の怖さで、閉じこもりがちな元受講者が自宅で転び、骨折した報も聞かれました。太極拳講習会は2つの教室で、二人の講師が担当、呉式太極拳は若い方の参加が増え、健康意識の高まりを、感じました。



いきいき健康体操教室

## (2) スポーツ活動事業

スポーツ大会は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため、唯一「グラウンドゴルフ大会」のみの開催となりました。

またクラブ化して始めた春秋開催の登山やマイクロバスを利用したバスハイキングなどの活動も中止となりました。

テニススクールは、6月から再開となり、一般教室は新コーチを迎え、月4回の開催日はテニス好きの受講者が熱心に通われています。



グラウンドゴルフ大会



一般テニススクール

## (3) 文化活動事業

電子顕微鏡でミクロを観る会主催の市民教養講座では、山松先生の「ノーベル賞受賞のチャンスは誰にでも・・・」、渡邊先生の「海という世界を生きる魚たち」、惣田先生の「新型コロナウイルスとは?」、星先生の「モースと臨海実験所」の各講座を開催いたしました。コロナ禍の中で参加者を半分にしばっての開催で、惣田講師の「新型コロナウイルスとは?」は人気講座で、翌月にアンコール開催しました。

春休み「くらりか」理科教室は、「レモン電池を作ろう!」をテーマに、小学生10人にしばっての開催でした。

市民図書館（SOLA）では、コロナ禍が落ち着いてから、おはなし会「絵本の読み聞かせ」を開催しました。図書館への来館者は貸出しのみの対応でしたが2870名、貸出し本も4606冊と在宅を反映して、昨年度より増えて、地域の方々に喜んでいただきました。

その他、正月書き初め・秋の二胡教室発表会・定期的な炭焼き工芸普及会などの活動もしっかりしました。

文化教室は英会話教室・子ども英語教室と芝居体験・キッズミュージカルはコロナ禍で休止中、油絵教室・中国語教室・書道教室・二胡教室・クラリネット教室の受講生の皆さんは熱心に受講されており、年々レベルが上がって来ています。



市民教養講座「ノーベル賞受賞は誰にでも・」



二胡教室発表会



子ども習字教室



中国語教室

#### （4）スポーツ・文化活動に必要な施設開放事業

35年間続いている学校開放施設（4校の学校及び旧西中の校庭・体育館・格技場・特別教室）と公園運動施設（日向根テニスコート・日向根球場・若葉台球場・大貫谷テニスコート）を利用して活動しているサークルが数多くあり、日々色々なスポーツ種目・文化種目で活動をしており、これらの施設利用の調整・管理・運営をクラブで、行っております。この長く続いているスポーツ・文化のサークル活動が、若葉台の元気を持続させ、対外的にも元気な高齢者が多い地域として、近年マスコミでの報道や、福祉関係の海外からの視察が増えている要因になっており、自他ともに自慢できる地域となっていることに、この事業の重要性を感じています。しかしながら、緊急事態宣言期間や、昨年8月までの学校開放施設は、規制がかかり十分な活動が出来ませんでした。

## (5) 地域支援事業（運動会、文化祭）

連合自治会・単位自治会より助成をいただいていた、運動会・文化祭もコロナ禍で、残念ながら中止となりました

## (6) 青少年支援事業

- ① 週 2 回開催のジュニアテニス教室には元気な子どもたちが参加しており、年々上手になっています。特に年度末に 4 年生（今は 5 年生）が友達を誘って、大勢参加いただくようになりました。太陽の下、元気いっぱい頑張っている様子です。
- ② チアリーディング教室は少し受講者が減りましたが、年度末にかけ元に戻りました。感染予防策を講じながらの活動で、元気な小学生でいっぱいです。
- ③ 他の「夏休み子どもの広場」「デイキャンプ」「ミニバス教室」「少年野球教室」などは中止となりました。



テニスジュニア教室



チアリーディング（レッスン）

## (7) その他

学校、地域と連携し、地域コミュニティの形成に努めるも、オール若葉台を対象とする連合自治会、まつりの会、社会福祉協議会が主催する行事はほとんど中止になりました。

若葉台まちづくりセンター・地区センター・住宅管理組合連絡協議会・各自治会と協調する事業もコロナ禍でほとんど中止となりました。

現在も継続している若葉台みらいづくりプラン推進会議には参加も、後半はオンラインでの参加となりました。

対外的には、横浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会主催の交流会やK S N（神奈川県総合型クラブネットワーク）の事業もすべて中止でした。

最後に 2020 年度の事業はコロナ禍で明けて、コロナ禍で終わった一年でした。満足のいく活動が出来ず、一時でも早い収束を望んでいます。

なお、神奈川県が地域住民対象に実施している「認知症低下抑制プロジェクト」は、クラブ施設（旧西中）を利用して実施されており、このプロジェクトへの協力をしております。

今後もより多くの方々にスポーツ・健康・文化活動に参加いただき、健康長寿で楽しい毎日を過ごしていただきたいと思います。

そして、関連組織と連携してよりしっかりしたクラブに成長させたいと思います。

今後とも、宜しくお願い申し上げます。